

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

次の計算を考えてみましょう。

$$\textcircled{1} 1 + 1 = 2 \quad \textcircled{2} 1 + 1 + 1 = 3 \quad \dots$$

では、次の式はどうでしょう。

$$\textcircled{1} \times \textcircled{1} = 4 \quad \textcircled{1} \times \textcircled{1} \times \textcircled{1} = 8 \quad \dots$$

この式の意味が分かるでしょうか。

初めの「 $\textcircled{1} 1 + 1 = 2$ 」は一人一人の努力の成果です。例えば、一人の人が毎日、漢字を1つずつ覚えていったとします。1日目は1つ、2日目には1 + 1で2つ、3日目には1 + 1 + 1で3つと、努力したことは毎日足し算として積み上げられていきます。

その努力をしている人が $\textcircled{1}$ です。努力をしている人が集まるとどうなるでしょう。頑張っている人を見ると自分も頑張ろうと思えるようになります。すると相手もさらに頑張ろうと努力をし、そこに協力が生まれます。協力し合うことで大きな力となります。これを相乗効果と言って、計算ではかけ算（乗法）になっていきます。だから、

$$\text{努力している2人が協力すると、} \textcircled{1} \times \textcircled{1} = 2 \times 2 = 4$$

$$\text{努力している3人が協力すると、} \textcircled{1} \times \textcircled{1} \times \textcircled{1} = 2 \times 2 \times 2 = 8$$

さらに、たくさん努力している人同士が協力すると、

$$\textcircled{2} \times \textcircled{2} = 3 \times 3 = 9 \quad \textcircled{2} \times \textcircled{2} \times \textcircled{2} = 3 \times 3 \times 3 = 27$$

となります。努力を積み重ねている人同士が協力するとどうなりますか。 $\textcircled{2}$ が $\textcircled{3}$ 、 $\textcircled{4}$ となり、思いもよらない大きな数、力となっていくのです。

低学年の皆さんには少し難しいかもしれませんが、「努力は足し算、協力は掛け算」と言って、コツコツ努力をしたことは確実に足し算として積み上がり、協力すれば掛け算として大きな力となるというお話です。

七小体育の日がいよいよ来週となりました。校庭や体育館を見ていると、毎日、踊りの練習や障害物競走などの練習をしている姿が見られます。9月に入って練習を始めたころは上手にできなかったことも、努力することでだんだんできるようになってきたのではないのでしょうか。また、友達と一緒に練習したり、教え合ったりすることで、一人で練習するよりもすぐに上達したこともあるのではないのでしょうか。一人一人が自分のやることを頑張り、友達と協力しながら、大成功の七小体育の日にしていきたいと思います。